

学習課題（小学校4年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

<学習内容>

◆「漢字辞典の使い方」（教科書 34～37 ページ）に取り組めます。

- ① 教科書（34～37 ページ）を読みます。35～36 ページの「音訓さくいん」「部首さくいん」「総画さくいん」について、それぞれどんなものかノートや取組シートに書きましょう。

※例：「音訓さくいん」…読み方が五十音順にならんでいる。ふつう、音はかたかなで、訓は平かなでしめされている。

- ② 37 ページの①・②は、学校の授業で漢字辞典を使って行います。

- ・①の漢字(写～遊)の画数を数え、ノートや取組シートに書きましょう。
- ・②の文を写し、**——**線の漢字の読み方を書きましょう。

◆「春の楽しみ」（教科書 38～39 ページ）に取り組めます。

- ① 教科書を声に出して読みます。意味が分からない言葉は、調べたりお家の人に聞いたりしてみましょう。

- ② 春の行事のかんたんなせつめいを右のカードのように絵と文でノートや取組シートに書きましょう。

※教科書にのっている行事でも自分が知っている行事でもよいです。学校が始まったら、友達と伝え合ひましょう。



◆教科書 47～59 ページの「アップとルーズで伝える」で学習する新出漢字（初～材まで）をノートに練習します。（読み方や書き順などは、153 ページに出ています。）

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「漢字辞典の使い方」では、教科書の P36～37 に QR コードが付いています。閲覧が可能でしたら、こちらも御活用ください。
- ・「春の楽しみ」で書きたい行事が選べない時や書く内容に困っている時には、「食べたことがある物や見たことがある物は何かな？」など、具体的に思い出せるように声をかけてみてください。また、お家の方の思い出や、知っていることを話してあげることも言葉に興味をもつきっかけになります。

【社会】

＜学習内容＞「わたしたちの北海道」

◆教科書138～139ページや地図帳、持っている資料などをもとに、北海道の地形について調べ、取組シートやノート、白地図に取り組もう。

(1) 「北海道地方」（地図帳69～70ページ）の地図では、色のちがいで土地の高さや土地の使われ方が表されているよ。下の問題について、取組シートやノートに書こう。

- ①〔土地の高さについて〕2000mより高い土地は何色かな。
- ②〔土地利用について〕土地の使われ方によって色で分けられています。黄色■は何を表しているのかな。
※地図帳の使い方(1)（地図帳16ページ）にヒントがあるよ。

(2) 地図帳69～70ページや87ページから下の地形の位置をさがして、白地図（北海道地方）に書き込もう。

- | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| ① <small>ひだかさんみやく</small> 日高山脈 | ② <small>きたみさんち</small> 北見山地 | ③ <small>いしかりへいや</small> 石狩平野 | ④ <small>とがちへいや</small> 十勝平野 |
| ⑤ <small>いしかりがわ</small> 石狩川 | ⑥ <small>とがちがわ</small> 十勝川 | ⑦ <small>こんせんだいち</small> 根釧台地 | |

※白地図に自分が知っている場所を加えると、さらにくわしい北海道地図をつくることができます。

※どこに何があるか、地図帳などを見なくても言えるようになったらすごいです。

※日本の自然のようす(1)（地図帳87ページ）に地形の解説があるよ。

(3) 地図帳69～70ページを見て、北海道のどこにどんな地形が広がっているのか、取組シートやノートに考えたことを書こう。

※北海道の中央には～。～が多い。など。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

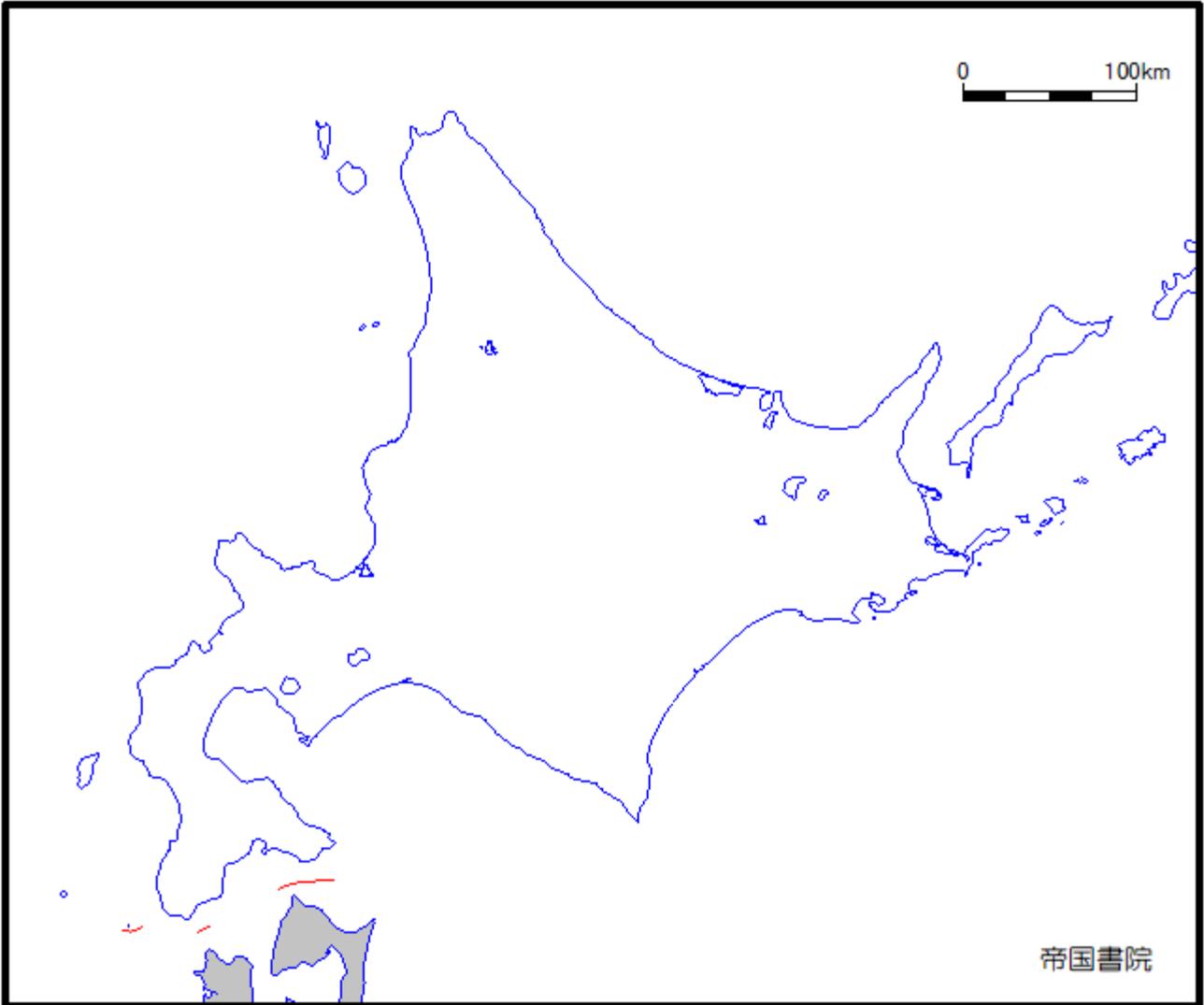
◆「地形」

・北海道の地形について、行ったことがある湖、有名な山などを地図帳で一緒に探すと、興味・関心を高めることができます。可能であれば、親子でクイズ形式にして答え合うと、楽しみながら、北海道の地形について学ぶことができます。

※地図帳P15のQRコードも、可能であればぜひ御活用ください。土地の高さの表し方についての解説があります。

ほっかいどう ち ほう
白地図（北海道地方）

名前 _____



【算数】

「※」は、学習するときのヒントです。

<学習内容>

◆折れ線グラフ（教科書 55 ページ～57 ページ）

(1) 教科書 55 ページにある、月別の降水量を表すぼうグラフを重ねて、月別の気温を折れ線グラフに表そう。

※まず、グラフの左側に、めもりに当てはまる気温を書いてみよう。

グラフ左側のめもりに合わせて、折れ線グラフをかいてみよう。

※ちがう種類のグラフを、組み合わせて表すこともあるよ。

(2) ぼうグラフと折れ線グラフ、2つのグラフを見て、気付いたことを、ノートか取組シートに書こう。

※例えば、「雨の量が多い月や少ない月の気温」を調べてみよう。

※学校での授業が始まったら、グラフを見て気付いたことを話し合
って、友達からもどんなことに気付いたのか聞いてみたいね。

<時間があったらやってみよう>

(3) 教科書 56、57 ページの折れ線グラフ【まとめ】にチャレンジしてみよう。

<保護者による関わり方のポイント>

◆折れ線グラフ（教科書 P55～57）

・「折れ線グラフ」の学習は、理科の「天気と気温」の学習でも活用することができます。

・棒グラフや折れ線グラフは、今後の日常生活でも使われることがあります。保護者の皆様が、子どもが気付いたときなどには、「よく気付いたね」と認めたり、「このグラフってこんなことが分かるね」という話題でお子さんと話したりすることは、子どもにとって学習する意欲を高めることにつながります。

※インターネット上にある「まなびリンク『折れ線グラフツール』」で、折れ線グラフをつくることもできます。

（教科書の P4 に、QR コード・HP アドレスがっています。）

【理科】

<学習内容>

◆「天気と気温」（教科書 30～31 ページ）の2枚の写眞を見て、子どもたちのようすについて考えましょう。

・朝と昼ごろの子どもたちのようすについて、気づいたことやぎもんに思ったことを取組シートやノートに書きましょう。

※同じ日なのに、どうして子どもたちの様子がちがうのかな。

※空の様子にちがいはあるかな。

◆教科書 33 ページの問題（晴れの日の気温は、1日のなかで、どのように変わるのだろうか。）について、調べましょう。

・1日の気温の変わり方について、1日の中で何回か気温をはかり、天気と気温を取組シートやノートに書きましょう。

※算数の学習課題を生かして取り組みましょう。

※天気と気温を表や折れ線グラフに書けるかな。

※気温は、どのように変わったかな。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

・この学習では、気温の変わり方と天気との関係に気付くことを大切にしています。

・「気温はどのように変わっているかな」「晴れのときの気温はどうかな」など、気温の変化と天気に関係に気付くよう声をかけてあげてください。

・温度をはかれない場合は、インターネット等で見られる気温を活用することができます。



参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「役立つリンク集」で紹介しています。各教科の学習を進める際に、お役立てください。